令和6年 第12回

宮崎市教育委員会（定例会）

会 議 録

公 開 部 分

令和6年 第12回宮崎市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和6年12月18日（水） 13:40～15:00

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 【教育長・教育委員】

黒木教育長、松尾代表教育委員、片山教育委員、小林教育委員、高峰教育委員

【事務局】

森屋教育局長

（企画総務課）河野課長、比江島補佐、田中補佐、野崎主査、中村主事

（学校施設課）齋藤課長

（学校教育課）小川課長

（生涯学習課）坂本課長

（文化財課）町田課長

4 報 告

番 号	件 名	説 明 者
報告第35号	臨時代理の報告について	教育局長 学校施設課長 生涯学習課長
報告第36号	臨時代理の報告について	学校教育課長
報告第37号	臨時代理の報告について	学校教育課長
報告第38号	令和6年第7回宮崎市議会定例会（12月）の報告について	教育局長
報告第39号	第7回生目台東小学校・生目台西小学校統合準備委員会の報告について	企画総務課長
報告第40号	教職員の事案の報告について	学校教育課長

黒木教育長	<p>ただいまから、第12回教育委員会定例会を開会します。本日の傍聴者はありません。</p> <p>会次第「2 会議録署名人の指名」です。本日の会議録の署名人は、私黒木と、片山教育委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
教育委員	異議なし。
黒木教育長	<p>会次第「3 行事報告等」に入ります。</p> <p>「(1) 教育長報告」については、記載のとおりです。</p> <p>続いて、「(2) 委員報告」です。12月12日に行われた「令和6年度市町村教育委員研修会（宮崎県教育委員会主催）」について、教育委員の皆様から感想等がありましたら報告をお願いします。</p>
片山教育委員	<p>今年度からCBT方式で学力調査を始めたとの話がありました。すぐに採点ができ、結果が出るため、振り返りができるところが良い点であるとのことでした。「子ども達はその日のうちに振り返っているのか。」と質問をしたところ、「学校に任せている。」との回答でした。すぐに採点が出るのであれば、特に小学生は、その日のうちに振り返りをし、わからないところを一緒にやり直し、定着させる等、良い方法があるのではないかと思います。テストをした後は、採点をして終わりではなく、一緒にみんなで振り返ることができる点が非常に利点になるのではないかと思います。</p>
松尾代表教育委員	<p>宮崎県の子どもの状況について、全市町村の教育委員と情報共有できて良かったです。質疑の場面では、宮崎県教育委員会との質疑応答という形でした。市町村間の情報交換ができる場面があると良いと感じました。</p>
小林教育委員	<p>宮崎県の教育施策を全市町村の教育委員が共有でき、非常に意味のある会でした。不登校支援や特別支援教育等の喫緊の課題に対する考え方が明確に示されていました。今回は、オンラインでの研修会であり、トラブルが多くありました。オンラインで実施をする以上、その点の対策を大事にしてほしいと感じました。</p>
高峰教育委員	<p>特に、特別支援教育の話については、包括的な施策を聞く機会が少なかったため、様々なことを学びました。私は、大人の障がいのある方と関わることも多く、障がいのあるお子さんの保護者から支援方法をよくお聞きします。個に応じた教育という言葉がありますが、一人ひとりの特性が異なる中で、社会に出て、社会と繋がりを持ち続けていくことが大事な課題であると考えています。</p>
黒木教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>続いて、「(3) 教育局長報告」です。11月25日から12月11日にかけて行われた「令和6年第7回宮崎市議会定例会」については、議事の報告の中で報告をお願いします。</p> <p>続いて、「(4) 各課行事報告」については、記載のとおりです。</p> <p>「① 企画総務課」の行事より、11月23日に「市制100周年記念イベント ミライ投資ステージ グローバルチャレンジ発表会」について、</p>

	事務局から報告をお願いします。
河野企画総務課長	<p>市制100周年記念イベントが11月23日及び24日に開催されました。23日には、グローバルチャレンジ支援事業に参加した10名の生徒のうち9名が高千穂通りに設置された「未来投資ステージ」にて報告を行いました。</p> <p>生徒たちは、多くの市民の前で日本語と英語を効果的に使いながら、自分の体験や学んだことについて堂々と発表しました。生徒一人ひとりの発表に対して、教育情報研修センターのALT2名がフィードバックを行い、和やかな雰囲気での発表会になりました。「帰国後も英語の勉強を頑張り、英検準1級の1次試験を突破した」、「ニュースなどを見るたびに、これからの日本や宮崎がどうあればよいか考える機会が増えた」「どんな場面でもリーダーになり、新しいことに挑戦したい」と発表する生徒もいました。</p> <p>今回の派遣を一つの大きなステップにし、参加した生徒たちが未来に羽ばたき、グローバルな視点をもったリーダーに成長し、日本や宮崎を引っ張ってくれることを確信したところです。参加者には、1年後、3年後など、生徒たちが次の進路を意識する時期に追跡アンケートを実施し、本事業の成果を継続して確認します。</p> <p>また、12月の市議会定例会の一般質問で、本事業について取り上げられました。趣旨としては、10人に対して1,000万円の予算を使うことに対してのご意見です。来年度に向けて、人数を増やし、費用を少し抑える形で予算の説明をしました。来年度は派遣先をマレーシアに変更し、寄付金や自治体国際化協会の補助金を活用しながら、一般財源を抑制しつつ、より多くの子ども達に海外の経験をしてもらいたいと考えています。</p>
黒木教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>これまでの行事報告に対する質問や各行事に参加された委員の皆様でお気づきになった点、これからの課題、また感想等がございましたら、お願いします。</p>
教育委員	なし。
黒木教育長	<p>それでは、「4 議事」に入ります。</p> <p>本日は、議案がありません。報告が6件です。</p> <p>はじめに、報告第35号「臨時代理の報告について」と報告第36号「臨時代理の報告について」、報告第37号「臨時代理の報告について」、報告第38号「令和6年第7回宮崎市議会定例会（12月）の報告について」は関連しますので、一括して事務局から説明をお願いします。進行の都合上、報告第38号「令和6年第7回宮崎市議会定例会（12月）の報告について」から説明をお願いします。</p>
森屋教育局長	<p>12月市議会定例会は、11月25日から12月11日までの日程で開催されました。</p> <p>まず、一般質問についてです。教育委員会に対し、15名の議員から</p>

106問の質問がありました。主なものとして、「部活動地域移行について」、「不登校児童生徒への支援について」が多く、他にも「小中学校の課題について」の中で「学校の通学区域の見直し」についての質問がありました。

議案第135号「令和6年度宮崎市一般会計補正予算（第10号）案」の「小中学校教室不足対策事業」と議案第152号「令和6年度宮崎市一般会計補正予算（第11号）案」の「小中学校教室不足整備事業」について質疑があり、答弁をしました。

続いて、「提出議案」をご覧ください。今回、教育委員会関連議案として、議案第135号「令和6年度宮崎市一般会計補正予算（第10号）案」、議案第152号「令和6年度宮崎市一般会計補正予算（第11号）案」、議案第164号と議案第165号「財産の取得について（追認）」の計4件を提出しています。いずれも原案のとおり可決されています。

続いて、「提出報告」をご覧ください。専決処分の報告が2件ありました。こちらは、校内での草刈り作業中の飛び石による車両破損に係る和解及び損害賠償の額を定める専決処分について報告しました。

最後に、議案の可決にあたり、文教民生委員会委員長報告の中で意見・要望がございましたので、報告します。

まず、「小学校教室不足対策事業」、「中学校教室不足対策事業」について、「当局においては、転用にあたり学校と十分に協議するなど児童及び生徒の授業等に影響がないよう努められたい。」との意見・要望でした。

続いて、「グローバルチャレンジ支援海外派遣業務委託」について、「当局においては、資料に事業の目的を明確に示すとともに、より少ない費用で目的を達成できる派遣地を選定するなど、より多くの生徒が参加できる事業構築に努められたい。」との意見・要望でした。

続いて、「小学校トイレ洋式化推進事業」、「中学校トイレ洋式化推進事業」について、「トイレ洋式化の促進については衛生環境の改善の観点から理解できるものではありませんが、計画的に行われるべき事業であることから、当局においては、追加議案として提案する必要がある場合は、将来の見通し及び年間計画等を示した上で事業の緊急性について丁寧に説明されたい。」との意見・要望でした。

続いて、「小学校不足教室整備事業」、「中学校不足教室整備事業」については、「当局においては、人口統計の推計だけでなく、地域の住宅着工状況等も考慮した上で児童生徒数の推移を把握し、早期に対策を講じるよう努められたい。また、増築する校舎については、コストを抑えられるよう適切な工法を選択されたい。」との意見・要望でした。

続いて、「財産の取得について（追認）」については、「これらの議案は、本来、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を経て小学校及び中学校の教科書等を取得すべきところ、議会の議決を経ずに取得していたため、財産の取得につい

	<p>て追認を求めるものです。今回の事案は、職員の認識不足により発生したとのことですが、当局においては、今後、職員同士の引継ぎだけではなく、チェックリストの作成や職員の研修を徹底するなど、再発防止に努められたい。」との意見・要望でした。</p> <p>最後に、「審査全体」について、「当局においては、当初予算調整時の見込額と現状に差が生じた原因を分析するなど丁寧な説明に努められたい。」「当局においては、可能な限り追加議案とならないようスケジュールに余裕を持って提案するよう努められたい。」との意見・要望でした。</p> <p>次に、報告第35号「臨時代理の報告」について、説明します。本来、教育予算について議会に諮る前に教育委員会にて承認を得なければならないものですが、急を要することから、宮崎市教育委員会事務委任規則第4条に基づき議会に提案し、12月宮崎市議会定例会にて承認を得たものになります。</p> <p>まず、歳出についてです。「児童クラブ施設整備事業」ほか計5件で、1億6,994万円を計上しています。</p> <p>続いて、歳入についてです。今回補正する歳出の財源として、市債を1億3,820万円見込んでいます。</p> <p>詳細については、担当課から説明します。</p>
齋藤学校施設課長	<p>まず、「小学校トイレ洋式化推進事業」「中学校トイレ洋式化推進事業」についてです。補正額として、3,600万円ずつ計上しています。これら事業は、本年度の当初予算でも計上し、事業を推進していますが、トイレ洋式化をより加速化させるため、今回補正予算において、宮崎港小学校、広瀬西小学校、生目中学校、久峰中学校の4校でトイレの洋式化を進めます。</p> <p>続いて、「小学校不足教室整備事業」「中学校不足教室整備事業」についてです。将来新たに必要となる普通教室や特別支援教室を確保するための校舎の増築です。江平小学校、宮崎港小学校、櫛中学校の3校が対象です。この3校は、今後、児童生徒数の増加により、教室の転用だけでは普通教室や特別支援教室の確保が困難になると予想されることから、校舎の増築を行います。今回の補正予算は、その基本設計・実施設計等に係る委託費です。今回の計画では、教室不足により、現在、校舎内にある児童クラブを校舎外に移転することも合わせて計画しています。補正額としては、小学校が江平小学校3教室及び宮崎港小学校7教室の計6,200万円、櫛中学校4教室の2,900万円です。</p>
坂本生涯学習課長	<p>先ほど、学校施設課から説明がありましたが、小学校の不足教室整備事業に併せて、校内にある児童クラブの教室を普通教室等に転用するため、児童クラブの部室が必要になりました。また、児童クラブの定員を確保するため、1部増築整備が必要であり、その基本設計と実施設計の委託費用を計上します。対象校は、江平小学校と宮崎港小学校です。なお、事業費の合計は1,300万円ですが、606万円は、電気の予算で対応するこ</p>

	とから、差額の694万円を計上しました。
小川学校教育課長	<p>報告第36号及び報告第37号の「臨時代理の報告について」を一括して説明します。本来、議会に議案を提出する際は、議会に諮る前に教育委員会にて承認を得なければならないものですが、急を要することから、宮崎市教育委員会事務委任規則第4条に基づき議会に提案し、12月宮崎市議会定例会にて可決されたものになります。</p> <p>小学校及び中学校教科書の採択替えに伴い、小学校分は令和2年3月26日に、中学校分は令和3年4月1日にそれぞれ契約し、取得した教師用教科書及び指導書については、地方自治法第96条第1項第8号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、予定価格2,000万円以上の消耗品を含む動産は、議会の議決を経て取得すべきところ、議会の議決を経ずに取得していたため、財産の取得について議会に追認を求めたものです。事案発生の原因ですが、学校教育課の認識不足により、予定価格が2,000万円以上の動産の購入について、議会の議決を要するという意識が欠如していたためと考えています。</p> <p>再発防止に向けた取組としては、関係法令の確認を徹底するとともに、契約事務手続きを進める際のチェック体制を強化し、適正な事務執行に努めます。法令に基づき行政を運営しなければならないにもかかわらず、本来必要な議決を経ずに教師用指導書を購入するという行政運営上あってはならない事態に陥ってしまいました。今後、二度とこのような事態が生じないように、再発防止に向けて取り組みます。</p>
黒木教育長	ただいま説明のありました報告第35号、報告第36号、報告第37号、報告第38号について、質問はありませんか。
教育委員	なし。
黒木教育長	ないようでしたら、報告第39号「第7回生目台東小学校・生目台西小学校統合準備委員会の報告について」、事務局から説明をお願いします。
河野企画総務課長	<p>12月11日に開催された第7回統合準備委員会では、閉校後の生目台西小学校の利活用、小中一貫校の通称名に関するアンケート結果、通学路等について、報告や協議を行いました。</p> <p>まず、閉校後の生目台西小学校の利活用についてです。11月の定例教育委員会で報告した内容と同様の内容を統合準備委員会で学校関係者へ説明を行いました。</p> <p>続いて、小中一貫校の通称名に関するアンケート結果についてです。9月に実施したアンケートでは、生目台西小学校、生目台東小学校、生目台中学校の児童生徒、保護者、地域の方、合計772人から回答がありました。こちらから示した通称名は、「生目台学園」「生目台中学校」であり、「他に何か提案があれば」との聞き方をしています。結果、「生目台学園」が最も得票数が多く、回答者の約51.3%となりました。</p> <p>協議の中では、「アンケート結果だけを見て、多数決で決定するのは</p>

	<p>なく、宮崎市初の小中一貫校の通称名ということで、児童生徒の思いを尊重して決定したい」との意見がありました。この統合準備委員会では決定に至らず、次回以降の統合準備委員会で協議することになりました。</p> <p>続いて、通学路についてです。11月の交流学习の際に、生目台西小学校の児童が新しい通学路を通して生目台東小学校に登校をしました。保護者や見守りボランティアの方から実際に通学時間帯を歩いてみて気づいたことを伺いました。改善が必要な場所については、学校から関係部署に問い合わせを行い、除草作業や苔除去作業などの対応をしました。すぐに対応できない場所については、見守りボランティアを依頼し、4月以降の通学路の安全確保を行うとのことでした。</p> <p>続いて、生目台西小学校閉校記念式典についてです。閉校記念式典は、令和7年2月16日に開催される予定です。午前中は学校関係者のみで授業参観や閉校式を行い、午後の閉校イベントは、地域の方にも学校を開放し、思い出映像の上映や警察音楽隊による演奏などが行われます。</p> <p>最後に、生目台東小学校の学校名称について、PTAから提案がありました。統合後の小学校名称については、昨年9月の第2回統合準備委員会で「生目台東小学校」をそのまま使用することが決定しており、周知を行ってきました。しかし、保護者や地域の方から様々な意見をいただいています。PTAが実施したアンケートでは、統合後の小学校名称は「生目台小学校が良い」と回答した保護者が多く、その結果を受けての提案です。PTAの提案をうけ、小学校の名称を変更するには、宮崎市立学校条例を改正する必要があるため、令和8年4月以降であれば学校名の変更が可能であると事務局から説明しました。小学校の名称については、今回の協議で結論が出ませんでしたので、1月に臨時会を開催し、再度協議を行います。</p> <p>この「統合準備委員会だより」は、令和7年1月9日に発行予定です。</p>
黒木教育長	ただいま説明のありました報告第39号について、質問はありませんか。
教育委員	なし。
黒木教育長	ないようでしたら、報告第40号「教職員の事案について」については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。
教育委員	異議なし。
黒木教育長	それでは、ただいまより非公開とします。
黒木教育長	<p>それでは、ただいまより非公開を解除します。</p> <p>続いて、会次第「5 その他」に移ります。</p> <p>まず、「(1) 令和7年度の学校暦の変更及び令和7年度宮崎市立ひなた中学校夜間部（夜間中学）4月入学者の入学式の期日について」、事務局から説明をお願いします</p>
小川学校教育課長	「令和7年度の学校暦の変更及び令和7年度宮崎市立ひなた中学校夜間

	<p>部(夜間中学) 4月入学者の入学式の期日について」説明します。</p> <p>まず、「令和7年度の学校暦の変更」について説明します。前回の定例会で説明をした、小学校の卒業式を3月23日から24日に変更します。各小中学校に、前回示した学校暦を周知したところ、小学校の卒業式について、3連休明けの月曜日に実施することが大変困難であるという意見が出たため、変更しました。</p> <p>次に、「令和7年度宮崎市立ひなた中学校夜間部(夜間中学) 4月入学者の入学式の期日」について説明します。宮崎市立学校管理規則の一部を改正する規則附則第2項の規定により、令和7年度宮崎市立ひなた中学校夜間部(夜間中学) 4月入学者の入学式の期日を、他の市立中学校と同日の令和7年4月9日とします。</p>
黒木教育長	ただいまの説明に対し、質問はありませんか。
教育委員	なし。
黒木教育長	続いて、「(2) 第2回宮崎市中中学生キャリア教育アワード「みやざき未来発表会」について」、事務局から説明をお願いします。
小川学校教育課長	<p>本市では、キャリア教育をとおして、地域のよさに誇りをもち、将来にわたって自分の生き方と「ふるさと宮崎」をつなげることができる子どもの育成を目指しています。その一環として、キャリア教育アワード「みやざき未来発表会」を昨年度から開催し、今年度は2回目の開催です。</p> <p>中学生が社会の中で見つけた課題や、企業等から与えられた課題に対して、地域の方や仲間と協働的に関わりながら、解決策や新たな提案を生み出す学習に取り組み、その過程や成果を発表します。既に市内の中学校25校から予選通過の上位6校を選出し、本選は1月17日に宮崎市民プラザで行います。</p>
黒木教育長	ただいまの説明に対し、質問はありませんか。
教育委員	なし。
黒木教育長	続いて、「(3)「光線銃戦国模擬合戦 ムカサの乱2025」及び「蓮ヶ池横穴群のためにわたしたち小学生ができること」について」、事務局から説明をお願いします。
町田文化財課長	<p>まず、「光線銃戦国模擬合戦ムカサの乱2025」についてです。1月18日及び19日の2日間、穆佐城跡にて開催します。本イベントは、民間事業者と連携した事業で、城内で光線銃を使った戦国時代の模擬合戦体験をはじめ、レプリカ甲冑の着用や紙手裏剣投げ体験など穆佐城の魅力を存分に感じてもらえるイベントとなっています。</p> <p>続いて、「蓮ヶ池横穴群のためにわたしたち小学生ができること」についてです。1月25日及び26日の2日間、イオンモール宮崎のレストランコートにて開催します。本イベントは、日本遺産の蓮ヶ池横穴群に隣接する住吉南小学校の児童の活動を紹介するもので、彼らが横穴群について学んだ成果発表や横穴群の魅力を伝えるために作成した作品の展示となっています。その他にも、蓮ヶ池横穴群の中で日頃見学することの出来な</p>

	い横穴をVR映像で仮想体験できるコーナーも設置します。
黒木教育長	ただいまの説明に対し、質問はありませんか。
高峰教育委員	「光線銃戦国模擬合戦ムカサの乱2025」について、関心があります。次回の定例教育委員会で様子を教えてください。今回は、子ども達向けですが、海外の方も「日本らしい」と喜ばれると思います。現在は、観光だけではなく、語学研修等で数か月滞在する方もいます。そのような方々も非常に興味を持たれるのではないかと思います。
黒木教育長	その他、委員の皆さまから、情報提供等がありましたら、お願いします。
高峰教育委員	まず、12月7日に開催された「第2回 宮崎歴史秘話ヒストミヤ！2024-2025」についてです。文化財課の企画で、教職員を対象にした宮崎の歴史を説明する研修でした。文化財課職員の説明が分かりやすく、すごく良い試みだと思いました。オンライン配信は、字幕が出た方がわかりやすいと感じました。課題等もあるかと思いますが、市民にも提供できるコンテンツがあると良いと思います。 続いて、学校の本についてです。学校訪問に行った際には、図書館の郷土史を見えています。あまり人気がないとのことで、理由を伺うと「本自体が古い」とのことでした。本が古いと子ども達の興味を引かないとのことでした。ビジネスの仕事をする上でも、郷土史を学び、郷土を愛する気持ちが非常に大事だと考えています。今後も子どもだけでなく大人も郷土史を学べるような環境整備ができると良いと思います。
片山教育委員	最近、知人から「宮崎市教育委員会は、子ども達を学校に戻そうと思っているのか、戻らなくていいと思っているのか、分からない。」と質問がありました。私は、学校に戻るという前提があると思っていますが、この点について、再度確認をしたいと思います。 最終的には、「学校に行く」ということがあると思います。ですが、保護者や地域の人、市民にしっかりと伝わっていないと感じています。宮崎県が主催の市町村教育委員会研修会でも「学校に戻らなくてよいと誤解されている部分があるので、その点を周知していきたい。」との話がありました。私たちは、子ども達が学校に戻って、どのような体験をさせたいのか、伝えていく必要があると思います。あたりまえのことが浸透していないことが課題だと感じています。
小川学校教育課長	今のご意見については、学校教育課の中でも様々な議論を行っています。子ども達の学びを止めないためにも、民間の力等を活用しながら、一緒になって、支援や対応をしていく時代になっていると感じています。 学校教育課としては、最終的に学校に戻ってきてほしいという思いがありますが、一人ひとりの子どもの状況を踏まえると一つの手法だけで学校に戻ることは難しいのではないかと考えています。「まなびバ！」や学びの多様化学校、民間の力等を合わせながら、子どもの学びを止めないよう、進めていきたいと考えています。
小林教育委員	宮崎東中学校と宮崎西中学校の学校訪問に行きました。学びの環境で気

	<p>になった点を共有します。</p> <p>宮崎西中学校では、男子トイレの便器が9台中3台が「使用禁止」の貼り紙がしてある状況でした。</p> <p>宮崎東中学校では、地域の方も来て、家庭科の調理実習をしていましたが、天板や側面がめくれあがっている机がありました。</p> <p>古いものを綺麗にして使うことは、非常に大切なことだと思いますが、授業経営と同様、環境経営も大切にしてほしいです。学校が魅力的な場所であるための1つの視点だと思っています。</p>
黒木教育長	<p>校舎については、どの学校も非常に古いです。学ぶ環境も大きな要素であると思います。今後も、検討していきたいと思います。校長にも話していきたいと思います。</p>
小川学校教育課長	<p>学校教育課でも学校訪問を通して、教室や学校の環境整備等を指摘しています。子どもの学ぶ環境は、トイレも含めて大事なことだと思います。機会を見て、指導や支援をしていきたいです。</p>
黒木教育長	<p>他にないようでしたら、次に、会次第「6 次回教育委員会について」と会次第「7 行事予定」について、一括して事務局から説明をお願いします。</p>
河野企画総務課長	<p>1 2月25日から1月5日にかけて、市立小中学校は冬季休業日です。</p> <p>1月3日から13日までの期間で、「はたちの集い」が各中学校区単位で開催されます。</p> <p>1月9日は、「第81回国民スポーツ大会宮崎市準備委員会第4回総会」「(仮称)日本のひなた宮崎国スポ・障スポ宮崎市実行委員会第1回総会」です。教育長、松尾代表教育委員の出席をお願いします。</p> <p>1月16日から17日にかけて、「令和6年度中核市教育長会第2回総会、第2回研修会」です。</p> <p>1月16日は、「令和6年度市町村教育委員会研究協議会」です。片山教育委員、小林教育委員、高峰教育委員の参加です。</p> <p>1月20日から21日にかけて、「令和6年度教育委員会先進地視察」です。</p> <p>1月13日は、「第60回宮崎県公立小中学校事務研究大会(記念大会)」です。松尾代表教育委員の出席です。</p> <p>1月24日は、次回の定例教育委員会です。</p> <p>2月2日は、「第58回市PTA研究大会」です。</p> <p>2月3日、「令和6年度市内教育関連施設への視察」です。「まなびバ！」の視察を予定しています。</p> <p>2月12日は、2月の定例教育委員会です。</p>
黒木教育長	<p>ただいまの説明に対し、質問はありませんか。</p>
教育委員	<p>なし。</p>
教育委員	<p>以上をもちまして、第12回定例会を終了します。</p>